

平安時代3 (藤原氏の政治)

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

平安時代の中ごろ、〔X〕氏は自分の娘を天皇のきさきにして、生まれた子を次の天皇にすることで力をにぎりました。この一族が行った政治のしくみを〔Y〕政治といいます。

① 〔X〕にあてはまる一族の名を答えなさい。()

② この一族が力のもととした、貴族や寺社が持っていた私有地を何と
いいますか。()

③ 〔Y〕にあてはまる言葉を答えなさい。()

④ ③の政治で、天皇が幼いときにつく役職と、天皇が大人になってから
つく役職を、それぞれ答えなさい。

幼いとき() 大人になってから()

⑤ この一族が天皇と親せき関係を結ぼうとしたのはなぜですか。次から
1つ選びなさい。

ア. 天皇の祖父として政治の実権をにぎるため イ. 天皇の位をうばうため

ウ. 領地を広げるため ()

2 次の和歌は、藤原氏の全盛期をきずいた人物がよんだものです。

これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

この世をば わが世とぞ思ふ 〔X〕の 欠けたることも なしと思へば

① 〔X〕にあてはまる言葉を答えなさい。()

② この和歌をよんだ人物はだれですか。()

③ ②の子で、同じように力をにぎった人物はだれですか。()

④ この和歌にこめられた気持ちとして正しいものを、次から1つ
選びなさい。

ア. 世の中の変化をなげく気持ち

イ. 思いどおりにならないものはないという満足した気持ち

ウ. 月の美しさをたたえる気持ち ()

⑤ 11世紀の後半、天皇が位をゆずって上皇となったあとも政治の実権を
にぎるようになりました。この政治を何といいますか。また、これを
最初に始めた人物はだれですか。

政治() 人物()

解答

1

- ① 藤原(ふじわら)氏
- ② 荘園(しょうえん)
- ③ 摂関(せっかん)
- ④ 幼いとき 摂政(せっしょう)／大人になってから 関白(かんぱく)
- ⑤ ア

2

- ① 望月(もちづき)
- ② 藤原道長(ふじわらのみちなが)
- ③ 藤原頼通(ふじわらのよりみち)
- ④ イ
- ⑤ 政治 院政(いんせい)／人物 白河上皇(しらかわじょうこう)